

【工事業者様用】

- このたびは、東芝パッケージエアコン用ワイヤレスリモコン受信ユニットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みになり正しい取り付けを行ってください。
- この受信ユニットと組み合わせるワイヤレスリモコンは別売です。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に取扱説明書にそって使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

また、この取付説明書は取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン

ワイヤレスリモコン受信ユニット

取付説明書

形名 RBC-AXR31C

安全上のご注意については、取扱説明書、室内ユニットの据付説明書、取扱説明書をご覧ください。

付属部品（次の部品が入っています）

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	受信ユニット	1	②	取付説明書（本書）	1

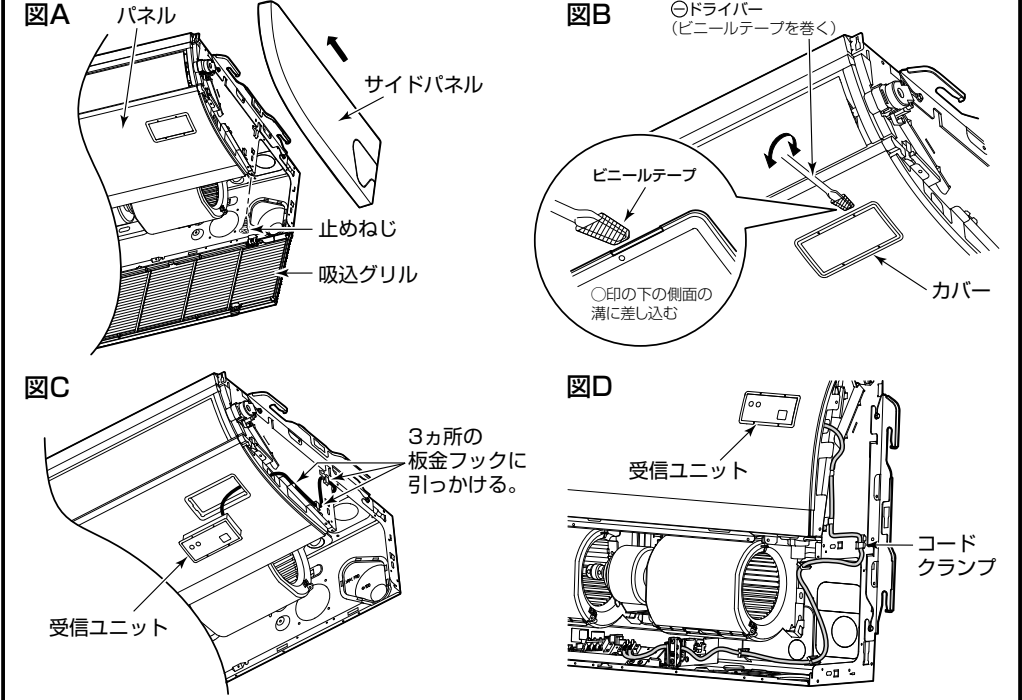
取り付け前の受信ユニットの設定

受信ユニット取り付け前に各項目をご覧になり、設定を実施してください。

- ワイヤードリモコンと同時設置する場合 → ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定
- 同じ室内に複数の受信ユニットを設置する場合 → 受信ユニットとワイヤレスリモコンの A、B 切替設定

受信ユニットの取り付けかた（天井吊形）

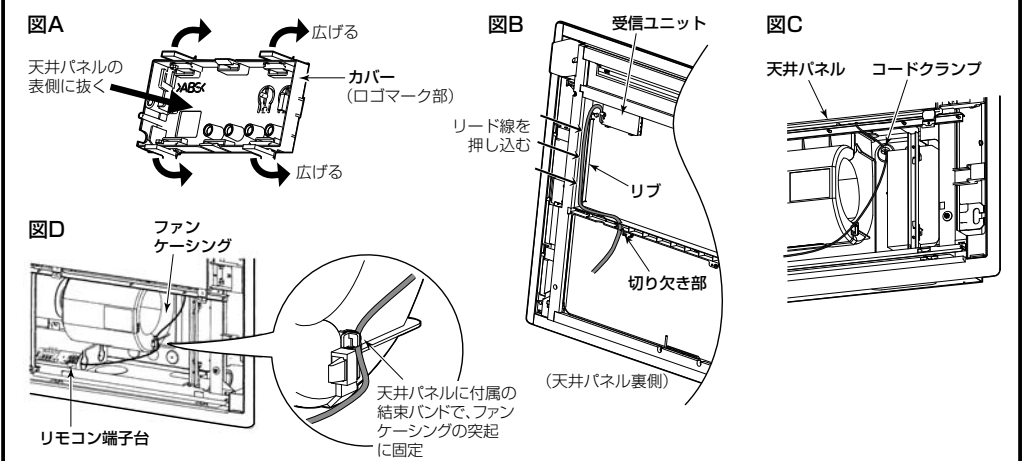
1. サイドパネルは吸込グリルを開き、ねじ 1 本をはずしてから前面（矢印方向）へ移動させてはずします。（図 A）
2. ⊖ドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの○印下の側面の溝に差し込んでこじるようにしてください。（図 B）（パネルにキズを付けないように注意してください。）
3. パネルにリード線を通してから受信ユニットをパネル穴に取り付けます。（受信ユニットの突起部がパネル穴で固定されます。）
4. 受信ユニットのリード線は、ルーバーモーターの配線を固定している板金フックに固定します。（図 C）
5. サイドパネルを取り付けます。
6. 受信ユニットからのリード線はルーバーモーター等の配線に添わせてコードクランプで固定します。（図 D）※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。



〈注 1〉受信ユニットの配線は電源引込線などといっしょにより合わせると、誤動作の原因となりますので避けてください。
※配線、試運転については本紙「受信ユニットの配線のしかた」および室内ユニット付属据付説明書「試運転」を参照ください。

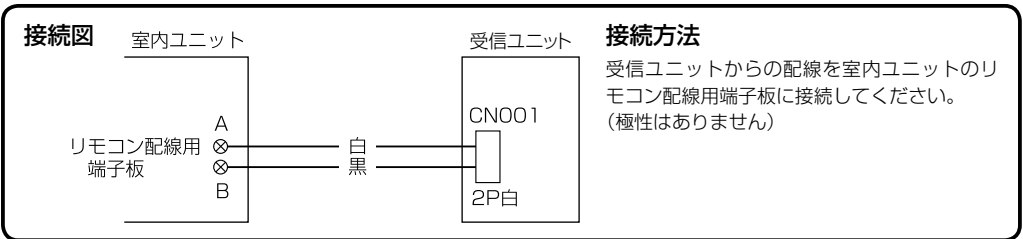
受信ユニットの取り付けかた（天井カセット形1方向吹出しタイプ）

1. 天井パネルに取り付けてあるカバー（ロゴマーク部）を固定部の爪を広げながら、表側に抜きます。（図 A）
2. 受信ユニットを天井パネルに取り付けます。（受信ユニットの突起部が天井パネルの爪で固定されます）
3. 受信ユニットのリード線を天井パネル裏側のリブに沿って押し込み、切り欠き部に通します。（図 B）
4. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
5. 天井パネルから出たリード線は室内ユニット天面のコードクランプで固定します。（図 C）
6. 受信ユニットのリード線は、天井パネルに付属している結束バンドでファンケーシングの突起に固定し、電気部品箱の下側の穴から引き込んでリモコン端子板に接続します。（図 D）



〈注 1〉受信ユニットのリード線は電源引込線などといっしょにより合わせると、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注 2〉リード線がファンに巻き込まれないように、確実に固定してください。
〈注 3〉ユニット電源からノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処理が必要です。
※配線、試運転については本紙「受信ユニットの配線のしかた」および室内ユニット付属据付説明書「試運転」を参照ください。

受信ユニットの配線のしかた



試運転（強制冷房運転）

お願い
強制冷房運転は機械に無理がかかりますので、試運転時だけとしてください。

試運転方法

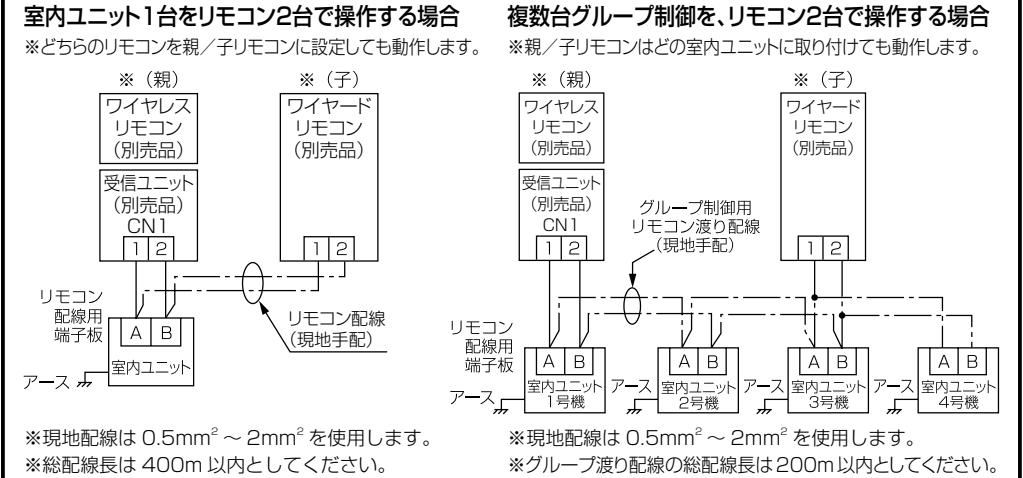
1. 応急運転ボタンを“ピッ”という音がするまで 10 秒以上押すと強制冷房運転に切り換わります。
約 3 分後冷房運転が強制的に始まります。冷風が出ていることを確認してください。
強制冷房運転が開始されない場合は、配線を確認してください。
2. 止めるときには応急運転ボタンを約 1 秒間押します。

●強制冷房運転中に室内機や室外機の配線や配管が問題ないことを確認してください。

ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定

ワイヤレスリモコン受信ユニットは、ワイヤードリモコンと同時設置することにより、2 リモコン制御が可能です。（ワイヤレスリモコン、ワイヤードリモコンを合わせて最大 2 台まで設置可能です）
この 2 リモコン制御は 1 台もしくは複数台のユニットを複数個のリモコンで操作するものです。
〈注〉受信ユニットとの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のしないよう接続してください。（AC200V を印加するとこわれます）
〈注〉ワイヤレスリモコン受信ユニットを 1 台の室内ユニットに複数個同時使用することはできません。
〈注〉ワイヤレスリモコン受信ユニットとワイヤードリモコンを同時設置して使用する場合は、どちらかのリモコンを子リモコンに設定してください。

- ワイヤードリモコン側を子にする場合は、ワイヤードリモコン基板裏のディップスイッチの 1 番をリモコン親→リモコン子にしてください。（変更方法はワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください）
- ワイヤレスリモコン受信ユニット側を子にする場合は、受信ユニット基板のディップスイッチ [SW30] の 4 番を OFF → ON にしてください。



受信ユニットとワイヤレスリモコンのA、B切替設定

- 同じ部屋へ複数台の受信ユニットを設置する場合、それぞれの受信ユニットへ信号が干渉しないように A、B 切替を設定することができます。
- 受信ユニットとワイヤレスリモコン両方の設定（A、B 切替）が必要です。

＜受信ユニット側の設定＞

室内機の電源を切ります。受信ユニットの PC 板上にあるディップスイッチ SW30 の 3 番を ON にします。
アドレス B へ切り替えます。詳細は下図を参照してください。

下部ケース

ねじ

受信ユニット

SW30

アドレス設定 B/A

ワイヤレスリモコン子機/親機

ディップスイッチ [SW30]

4	ON = 子機	OFF = 親機
3	ON = B	OFF = A
2	使用しない	
1	使用しない	

＜リモコン側の設定＞

- 1) 電池カバーをスライドさせてはずし、電池を取り出します。
- 2) 電池 BOX 内のジャンパー線部分をニッパーでカットすると B 設定になります。
- 3) 電池を入れて、リセットボタンを押してください。リモコン表示部に「B」と表示されます。
- 4) リモコンカバーを取り付けてください。

※ジャンパー線カット時のお願い
カット後はジャンパー線が接触していないのを確認してください。
またカットしたジャンパー線が中へ入らないように注意してください。

（注意）
A/B 切換を変更するときは、必ず本体とリモコンを同じ設定にしてください。（リモコンを受け付けなくなります）

ジャンパー線部分

カット方向

＜リモコンB設定の確認＞

変更したリモコンで室内ユニットが運転することを確認してください。
リモコン表示部に B 表示があることを確認ください。

自己診断機能表と処置方法

表示ランプ	原 因	処置方法
運転 ● ● ● リモコンを操作しても全く表示がない	電源が入っていない受信ユニットと室内ユニット間の誤配線	結線を見直して、正しく結線してください。
運転 ● ● ● 点滅	受信ユニットと室内ユニット間配線の接触不良	
運転 ● ● ● 点滅	室内外ユニット間の誤配線または接触不良	

表示ランプ	原 因	処置方法
運転 ● ● ● 交互点滅	室外機の保護装置が作動	室外機をチェックしてください。
運転 ● ● ● 交互点滅	室内ユニットの保護装置が作動	室内ユニットをチェックしてください。

受信ユニットの表示ランプ ●：消灯 ●：点滅（0.5秒間隔） 表示ランプの色 運転：緑 タイマー：緑 準備中：橙

お客様への説明

- ワイヤレスリモコン「取扱説明書」、ワイヤレスリモコン受信ユニット「取扱説明書」「取付説明書」は工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してから、お客様にお渡しください。
- ワイヤレスリモコン「取扱説明書」、ワイヤレスリモコン受信ユニット「取扱説明書」にそってお客様にご使用方法、お手入れのしかたを説明してください。